

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
レクリエーションアクティビティⅡ Recreation Activity Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(「レクリエーションインストラクター」「スポーツプログラマー」「ジュニアスポーツ指導員」資格取得者科目)	「レクリエーションアクティビティⅠ」を履修済みのこと
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
レクリエーションアクティビティⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
菅野 清子	本館 1F非常勤講師室	学務課案内	授業中に指示します	
授業の概要				
この授業では、様々なレクリエーション財(素材)を体験し、その楽しさを、レクリエーション主体者にどのように支援していくのが良いのかを学んでいきます。レクリエーションは、幼児から高齢者に至るまで、多くの場面において、その果たす役割は大きく、社会福祉サービスや医療機関などでも注目されています。人々への日常的な楽しさや心地よさを提供する支援者としての役割を、演習を通して学修していきます。				
授業の目標				
①いろいろなレクリエーション財(素材)の楽しさについて、主体者に説明が出来るようになる。 ②対象者に応じた、レクリエーションプログラムの作成ができるようになる。 ③レクリエーション活動や支援についての、基本的なスキルが、一人で実践できるようになる。				
授業の方法				
実技とグループワークを中心として行う。また、スキルアップのため、覚えたアクティビティを、みんなの前で説明し提供するなど、実践を取り入れながら展開していきます。				
学習の成果(学習成果)				
①幼児、児童、青年、高齢者、障がい者など、主体者に応じた、楽しいレクリエーション技術を提供することができる。 ②それぞれのプランにあった、レクリエーションプログラムの作成ができる。 ③ホスピタリティやコミュニケーションワークにおける、スキルを習得できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の進め方、成績評価方法、レクリエーション関連資格について)			
第2回目	アイスブレイキングプログラムの体験と基礎技術			
第3回目	レクリエーション活動の提供スキル①同時発声・同時動作の理解と声の使い方			
第4回目	レクリエーション活動の提供スキル②同時発声・同時動作の習得			
第5回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験①(高齢者施設…遊びリテーション、音楽レクリエーション)			
第6回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験②(介護予防…ニュースポーツ、ダンス)			

第7回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験③（子どもの居場所づくり…クラフト、チャレンジゲーム）	
第8回目	活動領域に合わせたアクティビティの体験④（子どもの居場所づくり…）	
第9回目	幼児や児童を対象としたレクリエーション活動の実際（児童館…親子体操、ダンス）	
第10回目	グループワーク	
第11回目	レクリエーション支援のプログラム作成と発表・評価①	
第12回目	レクリエーション支援のプログラム作成と発表・評価②	
第13回目	レクリエーション支援のプログラム作成と発表・評価③	
第14回目	レクリエーション支援のプログラム作成と発表・評価④	
第15回目	レクリエーション支援のプログラム作成と発表・評価⑤	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に前向きに取り組んでいる。 ・グループワークに積極的に参加している。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	各グループで作成したプログラム案に基づき、レクリエーションを提供する。主体者に合っているか、楽しく提供できたかを評価する。
その他	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回リアクションペーパーを配布。内容も評価する。
教科書と参考図書		
<p>教科書・・・使用しない 必要に応じてプリント配布。 参考図書・・・「レクリエーション支援の基礎」 公益財団法人 日本レクリエーション協会 他 随時 紹介</p>		
履修上の留意点・ルール		
<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークでの積極的な参加。仲間を思いやるホスピタリティな行動。 ・身だしなみを整え、支援者としての自覚を持つこと。 		